



常福寺の大仏 (刈宿町)

常福寺は平安時代半ば、源満国が母の菩提寺として建立したと伝わる。高さ14メートルの大仏は、1928年に寺の繁栄と世界平和を祈願して建てられ、「刈宿のおおぼとげさん」と呼ばれ親しまれている。

西尾更生保護

第78号

発行者
西尾保護区保護司会
事務局
西尾市寄住町下田22
西尾市役所福祉課内
☎(0563)56-2111(代)
(題字 鳥居伸子)



「安心・安全で

明るい地域づくり」

西尾警察署長

成瀬 征一

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかで希望に満ちた新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

皆様には、平素より犯罪や非行のない安心・安全な地域社会づくりにご尽力をいただき感謝申し上げます。また、警察行政各般にわたり深いご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが五類感染症となり、西尾祇園祭のほか各種イベントも従来通り開催されるなど、活気ある日常生活が戻りつつある一年でしたが、その反面、犯罪は増加いたしました。

西尾警察署では、本年も市民の皆様が抱えている不安や苦しみに思いをめぐらせ、その心情に寄り添った対応ができるよう署員一同が一丸となって治安の維持を強力に推進するとともに、関係機関、各種団体と情報交換をしながら、市民の皆様の平穏な暮らしを守るべく諸対策に取り組んでまいりたいと思います。

本年も、引き続き皆様のご支援をいただきながら安心・安全な街づくりに邁進してまいりたいと考えておりますので、今後とも警察活動へのご理解とご支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって良き年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のあいさつ



西尾保護区保護司会
会長 有馬 健治

明けましておめでとうでございます。新年を迎え、本年も皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

昨年五月にコロナウイルス感染症が五類に引き下げられ、様々な事業、イベントが再開されました。その中でも、七月五日に法務省保護局主催の「キックオフイベント・地域のチカラ」に応募し、全国六カ所の更生保護団体に選ばれました。社会を明るくする運動の一環として当保護司会が五十年余継続している「子育てを考える集い」を紹介しました。社明部会のメンバーを中心としてオンラインで収録し、ユーチューブで全国に発信しました。素晴らしい結果を残し、大変うれしく思っています。

令和六年度も名古屋保護観察所によるご指導ご支援を賜りながら、地方公共団体を始め関係機関、団体に対する協力依頼を積極的に推進し、保護司会の懸案事項の解決に努力してまいりたいと思っております。会員皆様の一層のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

更生保護女性会 今年の抱負
「対話が原点である」

西尾市更生保護
女性会
会長 沖田 和子

輝かしい新春を迎え皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年五月の新型コロナの五類への引き下げにより社会経済活動が戻り、更生保護活動もようやく活気が戻ってまいりました。昨年は、赤い羽根街頭募金、にしお福祉まつり、更生保護女性連盟女性の集い、西三河ブロック研修会、自啓会支援活動他色々な行事を行いました。いよいよコロナを乗り越える「ビヨンド・コロナ」のステージに入りました。会長二年目の昨年は、斬新な更生保護づくりを心がけて進めてまいりました。

今年度の抱負として、「対話が原点である」を信条に取り組み所存です。ほっとけない精神、これこそが更生保護活動の原点。対話、声かけなどに努め、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりになればと思っております。

新しい仲間を増やし、対話を大切に更なる活動の幅を広げて進めたいと思います。会員の皆様の更なるご理解・ご協力を願います。

年頭所感



西尾保護区
協力雇用主会
会長 深谷 宣一

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

令和五年には念願の愛知県就労支援事業者機構の井坂事務局長をお迎えして、我々雇用主会の立ち位置の重要さを学び取る事が出来ました。保護司の皆様も初めて聞いたとの話も出て、改めて研修会が西尾保護区の関係者にとって良い勉強会になったと満足しています。又、本年度には二社の新会員も増え、減少傾向だった会員数も歯止めが出来たのかと少し安堵もしております。

「人生転んでもええ大切なんはどいう立ち上がるかどすえ」こんな一文を読んだ事を思い出しました。どう立ち上がるかを手助けする事で我々の存在理由があるのです。

令和六年、「甲辰、三碧木星」の年は旧体制が破れて革新の動きが始まり、いかなる事変が起こっても守るべき事を守って事を処し進歩・発展の年とあります。

良き年への期待と会員各位のご協力を得て一歩でも前進できる事を念じ年頭所感と致します。

犯罪予防部会

西尾祇園祭街頭活動 R5.7.15

西尾の歴史で三百年余り続く大イベント「西尾祇園祭」の街頭活動に参加しました。私は、保護司として犯罪や非行を未然に防ぐ街頭活動は初めての経験です。

お祭りはコロナ感染症が第五類となつて初めての、夏休み直前の開催とあつて大賑わい。どこを歩いても、どの道も擦れ違う隙間すら無いほどの人、人、人。

私は、「夜、出歩いて良いことは無い」そんな警句を思い浮かべ、万が一そのような場面に出くわしたらと緊張していました。

しかし、若者たちのはち切れそうな笑顔、大人や子供たちの楽しそうな笑顔を見ていたら、西尾市から、そしてこの世の中から犯罪が無くなり、安心して暮らせる為の啓発活動のお手伝いができることに保護司としての誇りがこみ上げてきました。



(犯罪予防部会 千葉 貴子)

社明部会

社会を明るくする運動 『キックオフイベント』収録

七月五日、市役所でみだしの収録が二部構成で行われました。

第一部では、西尾市を含む全国六か所【半田・守谷・彦根・鳥取・長崎】の保護司会や関係団体とオンラインで繋ぎ、それぞれの特色ある取組が発表されました。

本保護司会では、この機会を千載一遇のチャンスと捉え、有馬会長、犬塚部長、石川副部長の三名が生で出演し、本保護区で昭和五十年から続いている保育園・父母の会との連携事業「子育てを考える集い」の取組内容を発表しました。発表原稿は、市や各関係機関のご助言を受け加除修正し、無事収録を終えることが出来ました。



第二部では、門山前法務副大臣より直接発表団体に対して取組のお礼や今後の期待メッセージも送られました。番組は、法務省HPに紹介され、また、YouTube法務省チャンネルにて、その様子が視聴できるようになっています。是非一度ご覧ください。

(社明部会 鈴木 陸)

青少年健全育成市民大会

八月二十一日、猛暑の中、一色カーネーションホールで三百名の参加を得て開催されました。



主催者あいさつでは中村健西尾市長が、優しさや思いやりのある社会に向けた行動して欲しいと話がありました。続いて来賓祝辞後、平岡将暢教育委員が大会宣言を読み上げ、大きな拍手で採択されました。

メインの中学生の主張では、十名の中学生が堂々と発表し、うち鶴城中の池内蘭さん、幡豆中の大西晴人さんが愛知県大会に出場しました。

幕間にはお笑い芸人鉄拳さんのパラパラマンガが流されました。少年が親や保護司の支えによって立ち直る話です。全体はモノトーンですが、少年と周りの人たちが持つ羽だけに黄の色が付けられていました。黄色い羽根は社明運動のシンボルであり、大会の趣旨を印象づける内容でした。

発表後中学生たちに花束が贈られ、有馬健治保護司会長の言葉で閉会しました。二十一年続いた合同開催は次年度から別々の実施となり、今後進め方が検討されます。

(社明部会 木下 一)

研修部会

施設見学研修 名古屋拘置所

昨年七月十二日、令和五年度の施設見学研修として、西尾保護区保護司会会員三十二名が参加し、名古屋拘置所を訪問しました。

施設訪問前には徳川家康ゆかりの名古屋城を見学。本丸御殿はじめ、名勝二之丸庭園、重要文化財等を観覧、昼食は八百彦本店まんだらにて味噌カツを堪能。その後、名古屋拘置所へ移動。

未決拘禁者(裁判で刑が確定していない被告人)が収容されていること等、総務部長から概要説明を受けた後、館内を案内されました。見学後には施設関係者の方々の質疑応答の時間を設けて頂き、会員からの質問に丁寧な答えを頂きました。



今回の貴重な体験で感じ得たものを今後の保護司活動に役立てていきたいと思えました。

(研修部会 糸 亜季子)

第二期地域別定例研修 犯罪被害者等の心情等を踏まえた保護観察及び生活環境の調整の在り方について

(令和五年十月二日実施)

令和四年法律第六十七号による更生保護法の改正により、被害者等の思いに応える処遇等の充実強化を図るための規定が新たに整備され、令和五年十二月までに施行されることになりました。

竹内健悟保護観察官を講師に研修を受講いたしました。



犯罪被害者の施策は、これまで被害者担当官や被害者担当保護司が担ってきましたが、今般の法改正により、加害者を担当する保護観察官や保護司を含めて総合的に取り組むべきものとされました。

今回の研修では、今般の法改正の趣旨を踏まえ、更生保護における犯罪被害者等施策について学習しました。今後、我々保護司が生活環境調整や保護観察を行う際、特に被害者の存在を意識しながら実施してほしいとのことでした。

(研修部会 小塚 義人)

愛知県更生保護大会 に参加して

と き 十一月十七日(金)
と ころ 春日井市民会館

県内から千名に近い保護司、更生保護女性会、BBS会員の方々が参加。西尾市からは全国保護司連盟理事長表彰の神谷昇保護司を始めとして二十名の方々が受賞されました。

当日、バス駐車場から会場に至るまで、寒風の中、関係者の方々が随所に立ち、親切に誘導して頂いたことがとても印象に残りました。

主催地の春日井市長の心温まる歓迎挨拶に始まり、受賞者一人一人に対して丁寧な配りが感じられました。そのせいもあってか、会場は大変和やかな雰囲気でした。



来年の大会は、名古屋市内保護区保護司会連絡協議会が担当され、名古屋市内で開催されるとのことです。帰りがけのバスの車中で、ふと、平成十九年に開催した西尾大会を、本紙で初めてカラーページ見開きで記載したことを懐かしく思い出しました。

(副会長・伊藤 則男)

令和五年度受表彰者紹介

敬称略

全国保護司連盟理事長表彰



保護司 神谷 昇

中部地方更生保護委員会委員長表彰



保護司 太田五九郎



保護司 蜂須賀正男

中部地方保護司連盟会長表彰



(家族功労) 有馬喜久子
(有馬健治保護司の妻)

名古屋保護観察所長表彰



保護司 杉山 邦雄



保護司 岩瀬 和道



保護司 杉浦 雅人



保護司 神谷 知幸

名古屋保護観察所長感謝状 (協力雇用主) (株)深谷工務所

愛知県保護司会連合会長表彰



保護司 山本 民夫



保護司 榊原 孝宏



保護司 稲垣 正彦



保護司 尼子 真弓

日本更生保護女性連盟会長表彰



更生保護女性会 伊澤まり子

中部地方更生保護委員会委員長表彰



更生保護女性会 大竹 照代

名古屋保護観察所長感謝状



更生保護女性会 笹尾 恵子



更生保護女性会 小田井杏子

愛知県更生保護女性連盟会長表彰



更生保護女性会 長谷部ふみ子



更生保護女性会 尾関 文香



更生保護女性会 高津 京子

新任保護司紹介



鳥羽町 小林 孝幸

(令和五年十一月二十五日 就任)

退任保護司紹介



鳥羽町 柴田 光江 (在職34年)



小焼野町 鈴木 孫七 (在職16年)



巨海町 筒井 隆博 (在職9月)

御逝去

松井 仁志(一色町) 令和五年八月二十八日

松井仁志さんを偲んで
松井さんは、本年度、本紙の編集委員長として卓越した手腕を発揮されていました。

昨年八月七日の編集委員会では、本号発行のための周到な計画案を提示されました。そして協議の末、巻頭の写真を常福寺の大仏とし、自ら撮影に向かわれるなど素晴らしい統率力、実行力でした。

今も松井さんの温かい眼差しが思い出されます。心より御冥福をお祈りします。
(総務部会長 山崎 正信)

第一面の写真は松井さんの撮影です。